第６号議案

議題１　全国大会実施基準改定に関して

①プロジェクト発表会 新基準の方向性について

日連では、「全国大会実施基準改定スケジュール」に基づき、プロジェクト発表会 全国大会実施基準の改定に

関して以下のとおり検討しましたので、ここに提案いたします。

（ア）（８）事前資料 について

　　①エントリーシート、及び ③発表原稿については、令和４年度実施基準の掲載内容から変更しない。

　　②活動記録簿は、審査項目の変更に伴い、一部加筆修正を行う方向で検討する。

（イ）（９）審査基準と配点 について

新しい学習指導要領では、育成を目指す資質・能力を「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」の３つの柱に整理するとともに、深い学びを実現する鍵として「教科としての見方・考え方」を働かせることの重要性を指摘している。また、生徒による主体的・計画的な農業学習のより一層の充実のため、プロジェクト学習の展開を推進することが求められている。

　　　そこで、新学習指導要領の基本方針に基づき、多方面からのご意見等も踏まえながら、審査基準と配点に

　　ついては一部加筆修正を行う方向で検討する。

（ウ）プロジェクト発表会実施基準についての補足説明 について

　１「発表内容」については、令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

　２「発表分野」については、下記のとおりとする。

発表分野と具体的な研究内容、および 分野の取り扱い方について、令和３年度に確定した新分野に合わせ

て内容を検討する。

３「発表および準備時間」については、令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

４「発表および発表者」については、令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

５「表現開始」については、令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

６「計測機器の持ち込み」については、計測機器の多様化から、持ち込みの可否について誤解が生じる恐れが

あるため、一部加筆修正を行う方向で検討する。

また、令和４年度春季代議員会で示した方向性の中で、（４）発表及び準備時間 を改定しないと示したが、

過去の発表会において生徒の不利益とも考えられる事案が発生していることもあり、全国大会実施基準検討委員会において細部について検討する機会が必要と判断されたため、（４）発表及び準備時間については再度検討することとする。

以上の事項に関する検討結果の詳細については、令和５年度春季代議員会において提示する。

②意見発表会 新基準の方向性について

日連では、「全国大会実施基準改定スケジュール」に基づき、意見発表会 全国大会実施基準の改定に関して

以下のとおり検討しましたので、ここに提案いたします。

（ア）（７）事前資料について

　　　①エントリーシート、及び ②発表原稿については、多方面からのご意見等も踏まえながら検討する。

（イ）（８）審査基準と配点について

　　　新学習指導要領の基本方針に基づき、多方面からのご意見等も踏まえながら、審査基準と配点について

は一部加筆修正を行う方向で検討する。

（ウ）意見発表会実施基準についての補足説明について

　１ 発表内容については、令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

　２「発表分野」については、下記のとおりとする。

発表分野と具体的な発表内容、および 分野の取り扱い方について、令和３年度に確定した新分野に合わせ

て内容を検討する。

３ 出場資格については、令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

４ 質疑応答ついては、令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

③農業鑑定競技会 新基準作成の進捗状況について

農業鑑定競技会全国大会実施基準の改定作業の進捗状況について、以下の通り報告いたします。

（令和３年度）

　　　12月　日連代表より、全国農業高等学校長協会支部長宛に「農業鑑定競技会全国大会実施基準作成委員

会(以下、同委員会という。)」委員・計21名の推薦を依頼した。１月初旬までに、19名の委員

が内定した。

　　　１月　同委員会第１回会議（オンライン、以下同じ）を開催し、19名に委員を委嘱した。委員が各担

当分野ごとに、新基準の中項目・小項目および出題の範囲について原案の作成に着手した。

(会議出席者：文部科学省調査官、日連代表・副代表、同委員会委員19名、日連中央指導委員)

　　　３月　同委員会臨時会議を開催し、あらたに２名に委員を委嘱した。

　　　　　　(会議出席者：同委員会委員２名、日連中央指導委員)

　　　３月　原案の作成を進めるにあたっての課題等について共有を図り、新しい学習指導要領に基づく教科書の多くが検定前・発行前の状況であり、原案の作成に支障を来していることがあらためて明らかとなった。なお、一部の大項目（科目）の教科書については、発行が令和６年度以降となる可能性があることから、実施基準改定スケジュールを見直す必要性があることが確認できた。

（令和４年度）

　　　４月 中央指導委員会において、実施基準改定スケジュールを一部変更すること、ならびに春季代議員

会にてその旨提案することを決定した。

４月　令和４年度同委員会第１回会議を開催し、進捗状況の確認ならびに課題の共有を図った。

　(会議出席者：文部科学省調査官、日連代表・副代表、同委員会委員、日連中央指導委員)

５月　令和４年度第74回春季代議員会において、全国大会実施基準改定スケジュールの一部変更につい

て提案し（第10号議案の議題１）、承認された。

６月　令和４年度同委員会第２回会議を開催し、進捗状況の確認ならびに課題の共有を図った。

　(会議出席者：文部科学省調査官、日連代表・副代表、同委員会委員、日連中央指導委員)

（令和４年度・今後の予定）

　 ９月 令和４年度同委員会第３回会議を開催。以降の開催月日については今後検討する。

10月　秋季代議員会（北陸大会）にて改定作業の進捗状況を報告。

（令和５年度の予定）

　 ５月 春季代議員会にて改定作業の進捗状況を報告。

　 10月　秋季代議員会（熊本大会）にて新基準(案)を提示。以降、全国アンケートを実施。

（令和６年度の予定）

　 ５月 春季代議員会にて、新基準を決定。

　 10月 新基準により全国大会（岩手大会）実施。

④クラブ員代表者会議 新基準(案)について

日連では、「全国大会実施基準改定スケジュール」に基づき、クラブ員代表者会議 全国大会実施基準の一部に

ついて以下のとおり改定するよう検討しましたので、ここに提案いたします。

１．目　的

　　テーマに沿った農業クラブ活動の事例をもとにした情報交換や連盟運営に関する意見交換を通して、農業

クラブ員の資質向上と農業クラブ活動の発展を図るとともに、農業クラブ員の主体的な活動の取組みを推進

する。

２．参加資格

　　単位クラブの会長もしくはこれに準ずる役員、または次期役員候補で、主体的に農業クラブ活動に取り組む

ことのできる者。

３．テーマとその決定方法

　　※令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

４．事例発表

（１）※令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

（２）※令和４年度実施基準の記載内容から変更しない。

（３）事例発表の内容は、テーマに沿った取り組みや活動とし、発表は印刷物や視聴覚機器を使用して参加者に

分かりやすいものとする。クラブ員の所属する学校のＰＲで終わることのないように注意すること。